

2/16 泉福

3回目接種大幅遅れ

2月末までの3回目接種対象者数と接種実績

	2021年12月	22年1月	累計
医療従事者等	487	89	※計画は終了
高齢者	307	343	2243
一般	82	162	39
対象者数全体の累計	876	1470	3752
接種実績の累計	53	408	1303

※政府資料などを基に作成。接種実績は月末(2月は15日)公表分

新型コロナウイルスのオミクロン株の流行で、感染拡大を抑えるための高齢者らへのワクチン三回目接種が遅れている。政府は三月中にほとんどの自治体で、二回目から六カ月たった高齢者に打ち終えたと踏んでいたが、現段階で半数にも達していない。政府は一日百万回の接種目標を掲げて地方自治体をせかすが、現場からはワクチンや接種券が届いていないとの声も上がる。

(曾田晋太郎)

高齢者「月内完了」厳しく

岸田文雄首相は十五日の政府与党連絡会議で、ワクチン接種記録システム(VRS)に入力される一日当たりの回数が直近で「約百

「接種のペースは着実に加速している」と述べた。

首相は接種の進展を強調するが、思い通りに進んでいないのが実情だ。政府の計画によると、二月末までの対象者は医療従事者(五百七十六万人)や高齢者(二千八百九十三万人)ら計三千七百五十二万人。市区町村の97・4%が高齢者らへの接種は完了すると政府に回答しているが、十五日時点で打ち終えたのは計千三百三十三万人にとどまる。

期間内に残る全員への接種を終えるには一日百万回では足りず、百七十万回余りまで引き上げる必要がある。十四日の衆院予算委員会では、立憲民主党の長妻昭氏が二月末までの接種が見込まれる人数を質問した

が、後藤茂之厚生労働相は明言を避けた。

全国老人福祉施設協議会などが今月上旬、全国約五千八百カ所の高齢者施設を対象にした調査では、接種が進まない理由として、最も多いのが「ワクチンが今後届く」の27・1%。次いで「接種券がそろってかから対応」の24・4%だった。

堀内詔子ワクチン接種推進担当相は自治体関係者と相次いで会談し、「接種券なしで打っている神戸市の例もある」などと柔軟な対応を求めたが、横浜市の中竹登市長は「国にもさらなる加速化に向けて熱意を持って対応してほしい」と逆に注文を付けた。